

# 道路舗装の戦略的維持管理

## 道路舗装の劣化状況

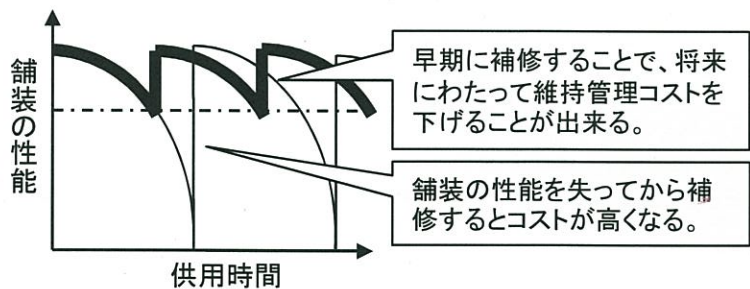
本市管理延長が2000kmを超える大部分の路線で舗装後、相当な期間が経過し、近い将来に一斉更新となる。



戦略的な維持管理が必要

## 予防保全型の維持管理

定期点検で早期に劣化状況を把握し、軽微な段階で補修を行うことで施設の長寿命化を図る「予防保全型」の手法を取り入れる。



## 道路舗装マネジメントの概要

堺市内の主要路線である129路線、L=323kmを対象



老朽化の進行状況より、将来の劣化を予測



予測結果より、最適な補修時期・工法を決定



計画的な工事の実施

効果

補修費を30年間で約100億円の削減を見込む